

子供のこころの困りごとと 認知行動療法

第一部『学校や家庭にどう働きかけるか』無料録画配信

第二部『子供と認知行動療法を楽しむには』有料録画視聴

我々大人と同様に、時として子供もこころの困りごとを抱えることがあります。そこには、大人の都合でいろいろな名前がついています。うつ病、双極性障害、社交不安症、パニック症、強迫症、摂食障害、発達障害、ADHD、チック、緘黙、ピック症（爪噛み、抜毛など）、ゲーム症など。まだまだあります。

しかし我々認知行動療法家は、それらの病名を横目で見ながらも、あくまで子供達の実際の生活不便を取り除くお手伝いとして、関わってきました。大きな不便や中ぐらいの不便が解消し、日常生活をそれなりにやっていけるようになっていくと、いつの間にか病名が取れているというのが我々の介入です。

子供のこころの困りごとに相対したとき、どのような指針をもって臨めばよいのでしょうか？何に気をつけて、どう振る舞えば良い？抑えておくべきポイントは？こういう子は？こういう学校・家庭をどうしたら良い？などと色々な問いがあると思います。

そこで、今回は、長らく日本の認知行動療法を盛り上げてきた一人で、子供と楽しく臨床してきた神村栄一先生と対談を行います。

問題解決のひとつの鍵である『学校や家庭にどう働きかけるか（第一部）』、無料でライブ配信&質疑応答を行います。

また、参加者から事前に募った質問を元に『子供と認知行動療法を楽しむには（第二部）』も収録し、後日第一部・第二部共に有料で編集録画配信します。一部二部通しで臨床心理士ポイントを申請予定です。

【対談者】

神村栄一（新潟大学） 西川公平（CBTセンター）

【日時】

第一部 2021/03/上旬（無料録画配信）

第二部 2021/03/05~2021/05/31（有料録画配信）

【対象】 医療、保健、福祉、産業、教育、司法の有職専門家
大学院生（認知行動療法初心者の方でも歓迎です）

【参加費】 第一部録画配信：無料 / 第二部録画配信：10,000円
各種割引あり。詳細はホームページより。

【参加方法】 下記URLまたはQRコードからお申し込みください。
<https://cbtcenter.jp/event/?itemid=2661>

【お問合せ】 web@cbtcenter.jp（一社）CBTを学ぶ会事務局

